

## 検体数

- 浴槽水:16検体
- 湯口水:16検体

計 32検体

## レジオネラ陽性件数

- 浴槽水:13検体
- 湯口水:12検体

計 25検体

## 結果

- ろ過濃縮 > 遠心濃縮:21検体(84%)  
浴槽水10検体  
湯口水11検体
- ろ過濃縮 < 遠心濃縮:4検体(16%)  
浴槽水3検体  
湯口水1検体

検体番号	ろ過濃縮法	冷却遠心濃縮法
1	80	20
2	90	20
3	340	100
4	620	130
5	280	60
6	420	90
7	900	430
8	720	420
9	20	360
10	10	300
11	130	20
12	310	270
13	2000	470
14	20	<10
15	290	<10
16	110	160
17	190	130
18	100	10
19	150	40
20	10	<10
21	20	<10
22	400	40
23	350	80
24	860	180
25	330	380

## 考察

- ろ過濃縮の方が検出率および検出数が高い傾向にあった。
- ろ過濃縮で検出され遠心濃縮では検出されなかった例が4検体あった。雑菌と分離培地さらには前処理との組合せによる影響も考えられるが、いかに実験ロス等を減らすかが今後の大きな課題である。
- どのような濃縮法であろうとも、検査結果に大きな差が生じぬよう改良が必要である。

## これらのことをできるだけ考慮した

- 標準的な検査方法を公衆浴場法の中に組み込み、検査施設間差を可能な限り軽減させることが必要。